

《参加費無料》
オンライン開催

《主 催》
東海農政局 時事通信社

農村RMO推進フォーラム

開催のご案内

農村RMOの普及啓発及び都道府県、市町村、農村RMOに取り組む関係者の知見の向上を図ることを目的に、東海農政局と時事通信社（補助事業者）の共催で農村RMO推進フォーラムを開催します。

開催日時： 令和5年1月27日（金） 13：30～15：30

テーマ： 集落コミュニティを「農村型地域運営組織」へ発展させるために

参加対象： 中山間地域における農業を通じた地域活性化に関心のある方

開催方式： ZOOMによるオンライン配信 ※アーカイブ配信はありません。

プログラム (敬称略)	13：30～13：35	開会のご挨拶	東海農政局 地方参事官 勝部 剛
	13：35～13：45	農村RMOの概要説明	東海農政局 農村振興部 農村計画課長 小林 悟
	13：45～14：15	《基調講演》 「かかわり」「つながり」がつくる 生活と地域そして経済 ～農村RMOの可能性を考える～	東京大学大学院 教育学研究科 教授 牧野 篤
	14：15～15：15	《管内の事例紹介と今後の展望》 事例紹介①	加子母むらづくり協議会（岐阜県中津川市） 事務局長 伊藤 満広
		事例紹介②	岡崎市下山学区地域づくり協議会（愛知県岡崎市） 会長 柴田 秀和 事務局長 小林 哲夫
		事例紹介③	勢和農村RMO協議会（三重県多気町） 副会長 高橋 幸照
	15：15～15：30	聴講者との コミュニケーション・セッション	【コミュニケーター】 登壇者およびオンラインご視聴の皆さま
		クロージング	司会者

聴講のお申し込みは下記よりお願いいたします。

<https://nouson-rmo.com/lp/webinar230127.html>

※お申込み時の「事前質問」および開催時間中のZOOMの「Q&A」から、皆さまのご質問・ご意見をお待ちしております。

受付の締め切りは、1月25日（水）17時といたします。

登壇者のご紹介（敬称略）

東京大学大学院 教育学研究科 教授／

一般財団法人 人生100年社会デザイン財団 代表理事 牧野 篤

名古屋大学を経て、2008年から現職。専門は、社会教育学・生涯学習論。「学び」とおした住民によるコミュニティづくりにかかわっている。雑踏のような研究室で、ざわざわと学生・院生とフィールドに入っている。

加子母むらづくり協議会

2012年に、中津川市加子母地区の全世帯が参加、自主的な地域運営をめざして「加子母むらづくり協議会」を発足。2015年には、協議会の運営基盤の安定化を図るため「NPO法人かしもむら」を設立した。

岡崎市下山学区地域づくり協議会

オクオカ（岡崎市の中山間地域）に位置する下山学区における生活や暮らしを守るため、住民が一体となり、生産、生活扶助、資源管理に取組み、地域コミュニティ機能の維持・強化を図る事業を行うことを目的に2022年設置。

勢和農村RMO協議会 副会長 高橋 幸照

2016年3月立梅用水土地改良区事務局長を退職後、

2016年4月から農事組合法人「元文の里営農組合」代表理事、一般社団法人「ふるさと屋」理事を兼務。

2022年4月から現職。併せて、多面的機能支払制度、多気町勢和地域資源保全・活用協議会会長に就任。

会場（オンライン）

ZOOMによるオンライン配信

前日までに視聴用URLを申込時のメールアドレスに送付します。

開催日時

2023年1月27日（金）13:30～15:30（開始10分前に配信開始）

定員

オンライン聴講 先着 500名

※参加は先着順とさせていただきます。お早めにお申し込みください。

【主催】東海農政局 時事通信社

お問い合わせは、「農村RMO推進フォーラム事務局（東海）」（時事通信社内）まで

E-mail sol@grp.jiji.co.jp

TEL 03-3524-6242